

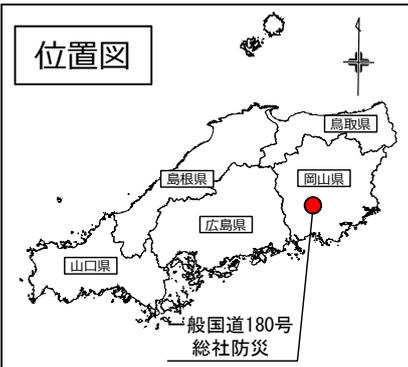
# そうじゃ 国道180号総社地区防災対策検討委員会（概要）

国道180号総社市日羽から総社市美袋においては、台風や大雨にともなう高梁川の増水による路面冠水の影響を受けやすく、平成30年7月豪雨時には約6日間の通行止めが発生しています。このため、自治体や有識者にも参画頂き、「国道180号総社地区防災対策検討委員会」を設立し、本年2月より本区間の路面冠水対策の検討を進めてまいりました。

この度、**詳細な路面冠水対策内容（区間・構造等）**についてとりまとめましたので公表します。

- 開催日：令和5年3月13日（月） 10：00～11：30
  - 有識者：小松 満 岡山大学 学術研究院 環境生命科学学域 教授  
佐藤 丈晴 岡山理科大学 生物地球学科 教授  
赤穂 良輔 岡山大学 学術研究院 環境生命科学学域 准教授
  - 路面冠水対策内容：作原西地区：築堤、作原東地区：現道嵩上げ（L型擁壁）
  - 整備延長：作原西地区：L=0.4km、作原東地区：L=0.8km
- <各地区の特徴>
- 作原西地区は、前後区間の堤防整備計画と一体の築堤構造となる。
  - 作原東地区は、廃線跡を活用し、山側の切土を極力抑えた現道を嵩上げ構造となる。

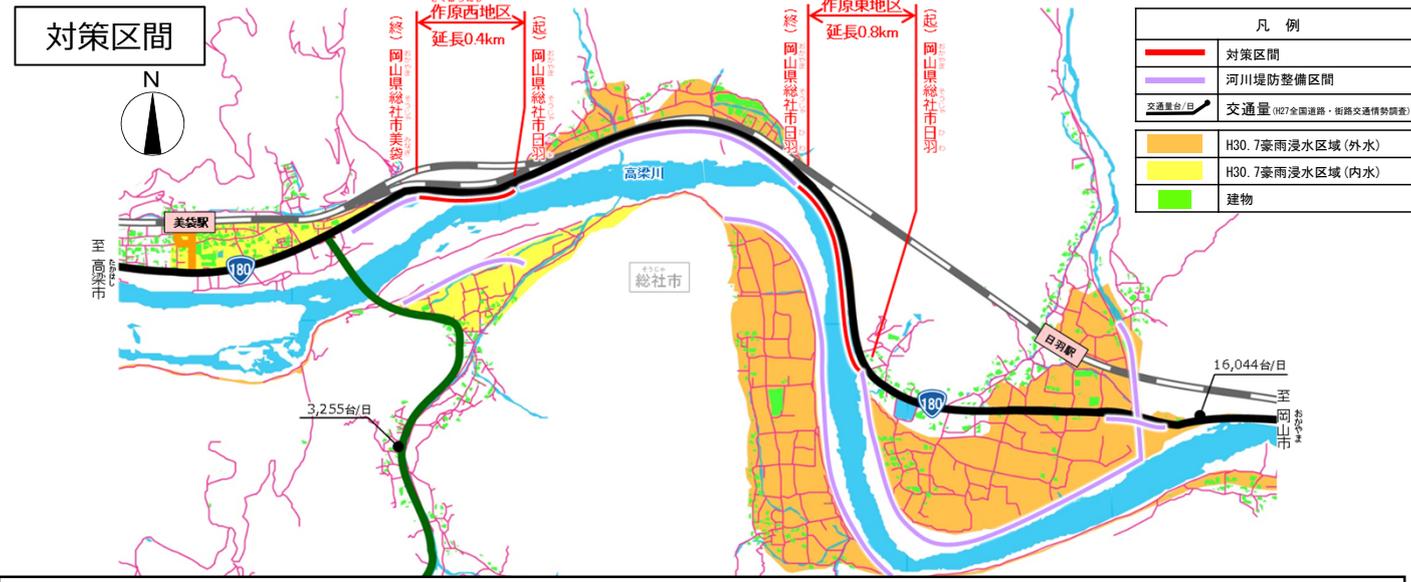
<委員会開催経緯>  
R5. 2. 6 第1回 経緯と課題、  
検討条件の整理  
R5. 3.13 第2回 対策内容とりまとめ



平成30年7月 西日本豪雨 路面冠水状況

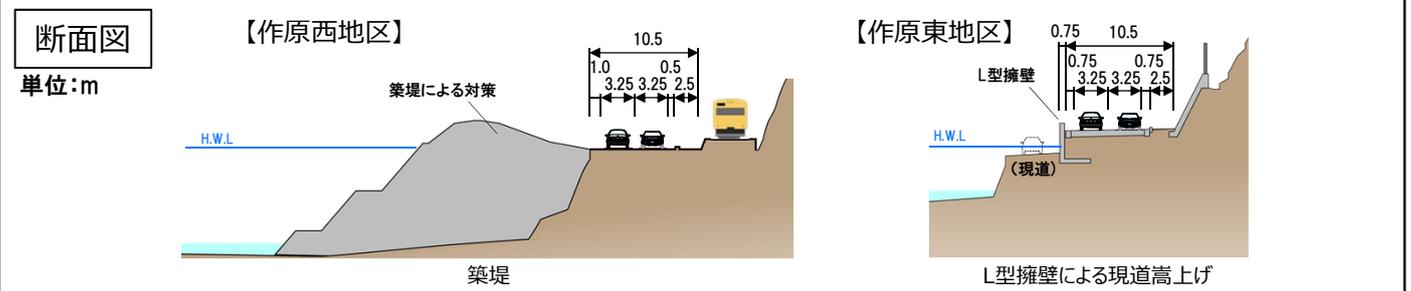
年月日	災害要因	規制時間
R2.7.14	大雨・豪雨	9時間20分
H30.9.30	台風24号	18時間50分
H30.7.6	H30.7豪雨	117時間15分
H25.9.4	大雨・豪雨	10時間00分
H24.7.7	大雨・豪雨	6時間25分
H23.9.3	台風	21時間40分
H22.7.14	大雨・豪雨	7時間40分

過去の路面冠水による全面通行止め（H22以降）



凡例

<span style="color: red;">—</span>	対策区間
<span style="color: purple;">—</span>	河川堤防整備区間
	交通量(027全国道路・街路交通情勢調査)
<span style="background-color: orange;">■</span>	H30.7豪雨浸水区域(外水)
<span style="background-color: yellow;">■</span>	H30.7豪雨浸水区域(内水)
<span style="background-color: green;">■</span>	建物



断面図  
単位:m

【作原西地区】

【作原東地区】

築堤による対策

L型擁壁による現道嵩上げ

築堤

L型擁壁による現道嵩上げ